

- ▶ 中間市では、人工林面積が1ha未満と極小であることから前年度に引き続き譲与税を活用し、公共施設等におけるソフト面の整備に取り組んだ。
- ▶ 令和2年度においては、以下の取組みにより公共施設の木製品の展示、普及啓発活動を行った。
  - ・前年度に取り組んだ庁舎南側のうち、未整備である市民フロア受付カウンターを木製ローカウンターに置き換えた。
  - ・令和3年度以降は、公共施設の集約化を行う際に施設の木造・木質化に活用するため、積み立てる。

□ 事業内容

1 公共施設の木質化事業

- ・福岡県産材を利用し、木材利用の促進につながるとともに、木のぬくもりや良さを発信することが出来た。
- ・また、受付窓口をローカウンター化することで高齢者等へ配慮したつくりとなり、利用しやすくなり、前年度同様市民が木材利用の意義に理解を深めたとの意見が聞かれた。

【事業費】 1,492千円（うち譲与税1,492千円）

【実績】 木材使用量1.2m<sup>3</sup>

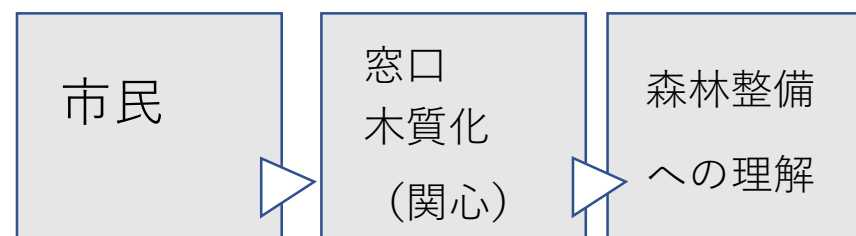


（事業1：パンフレットラック）



（事業2：木製ローカウンター）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

庁舎南側のうち、未整備である市民フロア受付カウンターを木製ローカウンターに置き換えた。市民からは木の香りや直接木に触れることで、リラックスできると思った意見が多く聞かれ木材利用の意義に理解が深まった。

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	3,674千円
②私有林人工林面積（※1）	1.0ha
③林野率（※2）	5.1%
④人口（※3）	41,796人
⑤林業就業者数（※4）	5人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2020農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より